

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド（為替ヘッジあり）」および「あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド（為替ヘッジなし）」“愛称 たんはい”は、去る10月21日に第5期の決算を行いました。本ファンドは主として米国市場の短期ハイ・イールド債券に投資を行うことで、インカムゲインの獲得と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行っております。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、法令に基づいて運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド  
(為替ヘッジあり)

あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド  
(為替ヘッジなし)

愛称

# たんはい

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド（為替ヘッジあり）

第5期末（2019年10月21日）	
基準価額	9,568円
純資産総額	51百万円
第5期 (2018年10月23日～2019年10月21日)	
騰落率	△0.9%
分配金合計	100円

(注1) 騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド（為替ヘッジなし）

第5期末（2019年10月21日）	
基準価額	10,064円
純資産総額	102百万円
第5期 (2018年10月23日～2019年10月21日)	
騰落率	△1.4%
分配金合計	50円

(注1) 騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

## 第5期

決算日

第5期 2019年10月21日

作成対象期間（2018年10月23日～2019年10月21日）



## あおぞら投信株式会社

東京都千代田区麹町6-1-1

■ ホームページアドレス（基準価額をご確認いただけます。）

<http://www.aozora-im.co.jp/>



■ お問い合わせ先

<お問い合わせ窓口>

# 03-6752-1051

受付時間：

営業日の午前9時から  
午後5時まで

\* お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

○本ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。また、運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

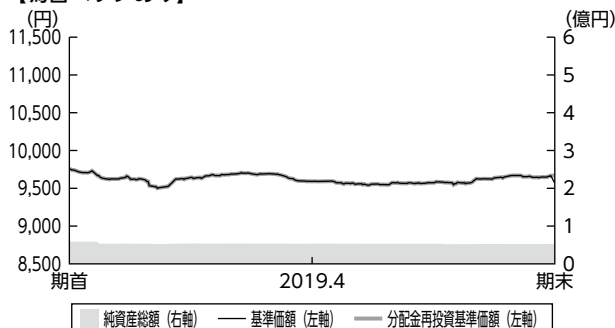
<運用報告書（全体版）閲覧方法>

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報・基準価額一覧」を選択⇒「ファンダー一覧」より該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書（全体版）一覧」を選択

## 運用経過 (2018年10月23日～2019年10月21日)

### 基準価額等の推移

【為替ヘッジあり】



第5期首：9,758円  
第5期末：9,568円 (既払分配金100円)  
騰落率：△0.9% (分配金再投資ベース)

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

※分配金再投資基準価額は、期首(2018年10月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

※上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

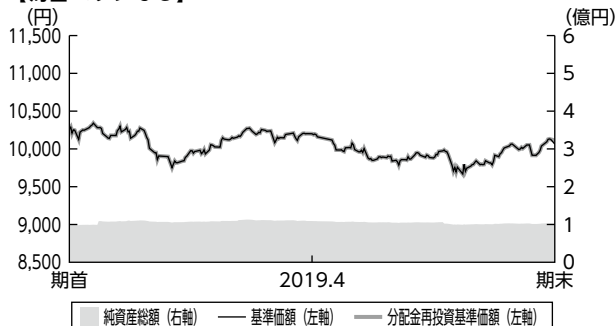
### 基準価額の主な変動要因

【為替ヘッジあり】

本ファンドの基準価額は、当期末において9,568円となり、当期中に支払われた合計100円(1万口当たり、税引前)の配当金を加味した当期リターンは、0.9%(信託報酬控除後、分配金再投資ベース)の下落となりました。

### 基準価額等の推移

【為替ヘッジなし】



第5期首：10,258円  
第5期末：10,064円 (既払分配金50円)  
騰落率：△1.4% (分配金再投資ベース)

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

※分配金再投資基準価額は、期首(2018年10月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

※上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### 基準価額の主な変動要因

【為替ヘッジなし】

本ファンドの基準価額は、当期末において10,064円となり、当期中に支払われた合計50円(1万口当たり、税引前)の配当金を加味した当期リターンは、1.4%(信託報酬控除後、分配金再投資ベース)の下落となりました。

米国ハイ・イールド債券市場全般より比較的質が高く、償還までの期間が短いポートフォリオを維持することで、高いインカム・ゲインを獲得しながら、元本の保身を優先したポートフォリオを構築した結果、米国ハイ・イールド債券市場が向かい風に直面した局面において基準価額の下落幅が限定的だったことに加えて、市場環境が改善した局面では基準価額が上昇しました。また、ドル円為替レートで、円高ドル安が進行したことが、為替ヘッジなしにおいてはマイナス要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細（2018年10月23日～2019年10月21日） 【為替ヘッジあり】

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬	108	1.124	(a) 信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,621円です。
(投信会社)	(53)	(0.548)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(53)	(0.548)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	19	0.199	(b) その他費用＝ $\frac{\text{〔期中のその他費用〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$
(監査費用)	(19)	(0.199)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	127	1.323	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

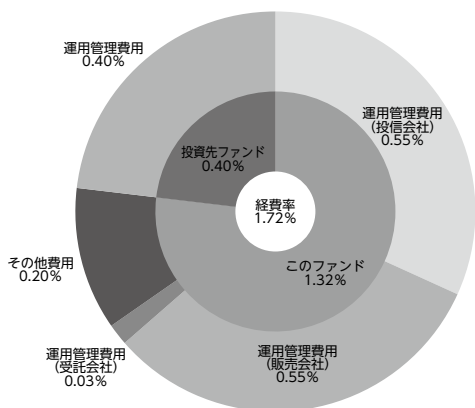
(注3) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

### （参考情報）

#### 経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.72%です。



経費率 (①+②)	1.72%
①このファンドの費用の比率	1.32%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.40%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

【為替ヘッジなし】

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬	113	1.124	(a) 信託報酬 = (期中の平均基準価額) × 信託報酬率 期中の平均基準価額は10,047円です。
(投信会社)	(55)	(0.548)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(55)	(0.548)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	20	0.200	(b) その他費用 = $\frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}}$
(監査費用)	(20)	(0.200)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	133	1.324	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

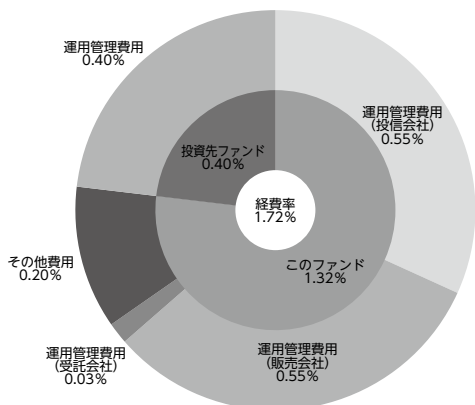
(注3) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.72%です。



経費率 (①+②)	1.72%
①このファンドの費用の比率	1.32%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.40%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

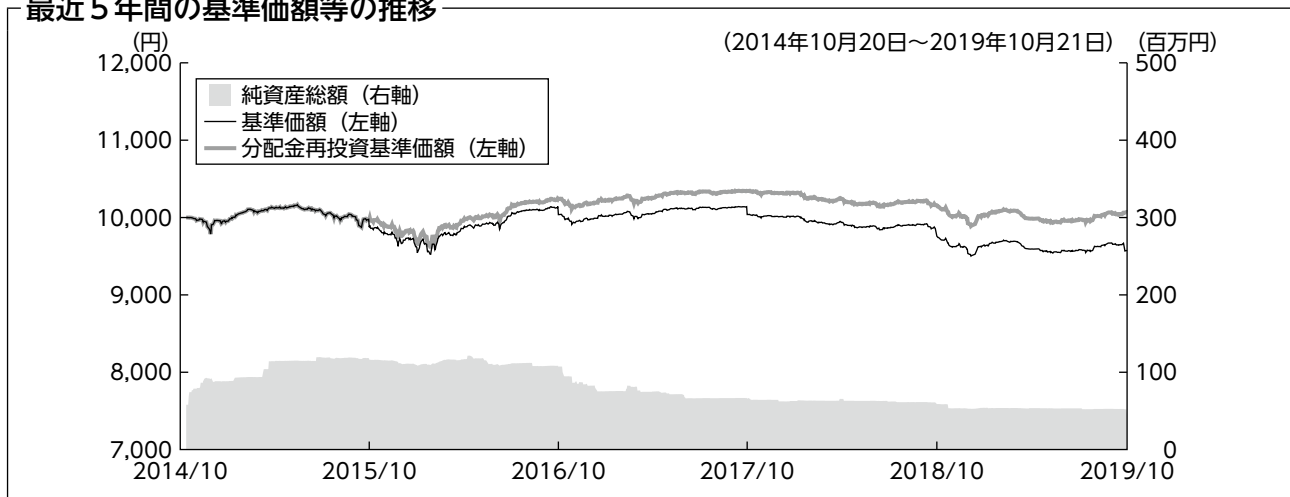
(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 【為替ヘッジあり】

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 本ファンドの設定日は2014年10月31日です。

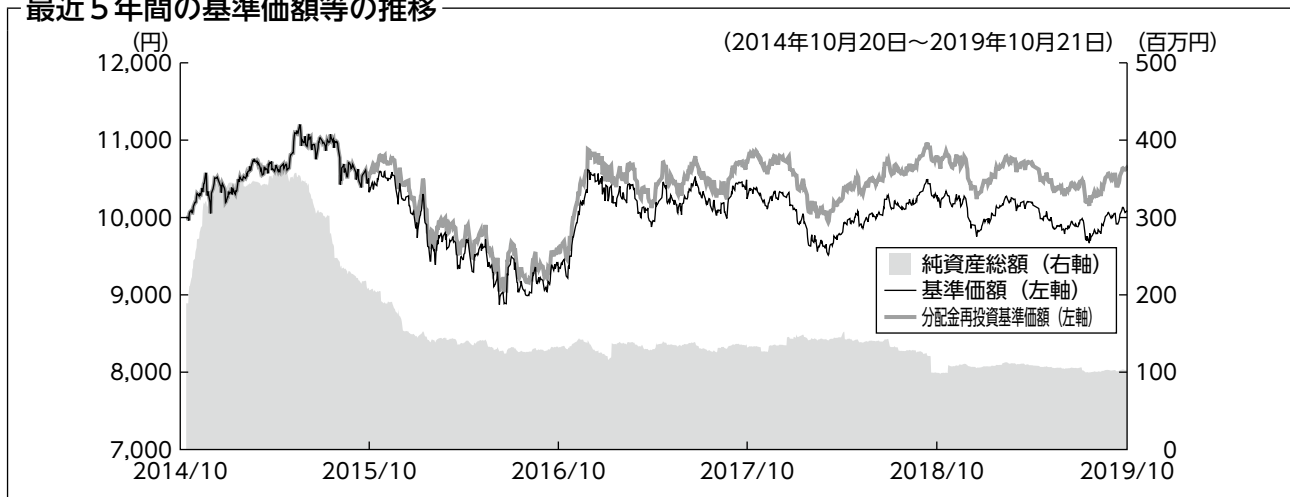
決算日		2014年10月31日 (設定日)	2015年10月20日 (決算日)	2016年10月20日 (決算日)	2017年10月20日 (決算日)	2018年10月22日 (決算日)	2019年10月21日 (決算日)
基準価額	(円)	10,000	9,874	10,037	10,039	9,758	9,568
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	100	100	100	100	100
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	△0.3	2.7	1.0	△1.8	△0.9
純資産総額	(百万円)	57	116	107	65	58	51

(注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。また、純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注2) 2015年10月20日の「分配金再投資基準価額騰落率」は、2014年10月31日からの騰落率で、年間騰落率とは異なります。

(注3) 本ファンドは複数の投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズです。本ファンドは、主に米国企業の発行する、実質的な償還までの期間が概ね5年以下の短期ハイ・イールド債券に投資を行うことを基本方針としており、また一部バンク・ローンに投資する場合があります。このため、本ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

## 【為替ヘッジなし】 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 本ファンドの設定日は2014年10月31日です。

決算日		2014年10月31日 (設定日)	2015年10月20日 (決算日)	2016年10月20日 (決算日)	2017年10月20日 (決算日)	2018年10月22日 (決算日)	2019年10月21日 (決算日)
基準価額	(円)	10,000	10,326	9,294	10,241	10,258	10,064
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	200	50	200	50	50
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	5.3	△9.5	12.3	0.7	△1.4
純資産総額	(百万円)	189	205	131	131	99	102

(注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。また、純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注2) 2015年10月20日の「分配金再投資基準価額騰落率」は、2014年10月31日からの騰落率で、年間騰落率とは異なります。

(注3) 本ファンドは複数の投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズです。本ファンドは、主に米国企業の発行する、実質的な償還までの期間が概ね5年以下の短期ハイ・イールド債券に投資を行うことを基本方針としており、また一部バンク・ローンに投資する場合があります。このため、本ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

## 投資環境

### <米国ハイ・イールド債券市場>

当期は、市場変動率や原油相場の騰落を始めとして、幾つかの要因が米国ハイ・イールド債券市場に影響を与えました。

当期初は、米中通商協議の先行き不透明感や中国をはじめとする世界的な景気減速懸念が意識され、米国株式市場が下落する中、株式市場との連動性が高い米国ハイ・イールド債券市場も下落しました。2019年に入ってから、米中通商協議の進展期待に加え、F R B (米連邦準備制度理事会) のハト派への方向転換が投資家心理の改善につながり、米国ハイ・イールド債券が上昇に転じる局面もありましたが、5月に入ると米中の対立激化による投資家のリスク回避姿勢が強まる中、国債とのスプレッド (国債との利回り格差) が拡大し、下落しました。6月以降は、世界でマイナス利回りの債券が増加する中、F R Bへの緩和期待と利下げの実施、予想を上回る企業決算、好調な米国経済指標、米中通商協議の進展期待などにより、投資家のリスク選好の動きが見られたことから、ハイ・イールド債券市場は大幅に上昇しました。

### <為替市場>

ドル円為替レートは円高ドル安となりました。当期初は、米中関係悪化への警戒感や、中国をはじめとする世界景気の減速懸念の高まりのほか、米政府機関の一部閉鎖から投資家のリスク回避姿勢が強まる中、米長期金利低下に伴って日米金利差縮小が意識され、一時104円台まで円が急伸しました。当期後半に入り、米政府機関の予算枯渇による再閉鎖の回避に加え、世界景気への過度な減速懸念が後退したことや、米中通商協議の進展から111円台後半まで円安が進む局面もありましたが、米中対立の激化/長期化に加えて、英国の合意なきE U (欧州連合) 離脱への警戒や、根強い世界景気の減速懸念を背景に、F R Bによる追加利下げ観測が高まる中、米長期金利低下に伴う日米金利差縮小を意識した円買いが優勢となり、円高が進みました。

## 当該投資信託のポートフォリオ

本ファンドの運用方針に従い、主要投資対象であるケイマン籍外国投資信託証券 (円建て) 「アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし) \*」への組み入れを高位に保つことで、主として米国企業が発行する米ドル建ての短期ハイ・イールド債券 (償還期限 概ね5年以下) に投資を行い、インカム・ゲインの獲得と信託財産の成長を目指して運用を行いました。

※アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし) (円建て) については、2019年4月11日を変更適用日として投資対象ファンドをグローバル・マルチ・ストラテジーズ・U S・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし) (円建て) から変更致しました。(以下同じ)

組入ファンドにおける当期の運用状況は以下の通りです。

<アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし) >

主に米国市場で取引されている、米国企業の発行する米ドル建ての短期ハイ・イールド債券等に投資する

ことで、インカム・ゲインの獲得と信託財産の成長を目指して運用を行いました。実質的な償還までの期間が概ね5年以下のハイ・イールド債券を中心に投資し、金利変動リスクと信用リスクの低減に重点を置いてポートフォリオを構築しました。2019年9月末時点での組入銘柄数は93銘柄、業種構成では36業種に分散されています。ポートフォリオの平均最低利回りは5.7%、平均修正デュレーションは0.8年、平均格付はBB-となっています。

#### <あおぞら・マネー・マザーファンド>

本邦通貨表示の短期公社債等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いました。主要投資対象となっていた第336回利付国債（2年）が2016年1月に償還を迎えた後、有担保コール翌日物および金銭信託による運用を続けてきましたが、当期末時点では有担保コール翌日物が主要投資対象となっています。

#### 当該投資信託のベンチマークとの差異

本ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

#### 分配金（1万口当たり、税引前）

本ファンドの収益分配方針に従い、当期の分配金は以下の通りといたしました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

#### 分配原資の内訳

##### 【為替ヘッジあり】

(単位：円、1万口当たり、税引前)

	第5期	
	自 2018年10月23日 至 2019年10月21日	
当期分配金	100	
(対基準価額比率)	1.034%	
当期の収益	—	
当期の収益以外	100	
翌期繰越分配対象額	482	

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

##### 【為替ヘッジなし】

(単位：円、1万口当たり、税引前)

	第5期	
	自 2018年10月23日 至 2019年10月21日	
当期分配金	50	
(対基準価額比率)	0.494%	
当期の収益	—	
当期の収益以外	50	
翌期繰越分配対象額	925	

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

#### 今後の運用方針

##### <本ファンド>

今後も当初の運用方針に従い、主要投資対象であるケイマン籍外国投資信託証券（円建て）「アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）」への組み入れを高位に保つことで、主として米国企業が発行する米ドル建ての短期ハイ・イールド債券（償還期限 概ね5年以下）に投資を行い、インカム・ゲインの獲得と信託財産の成長を目指して運用を行います。



<アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし) >

本ファンド戦略の運用方針に変更はありません。米国ハイ・イールド債券市場で長期に亘ってリターンを獲得するために重要なことは、企業ファンダメンタルズを丹念に分析・観察することであり、今後もこの投資哲学に基づいて、環境変化に機動的に対応できる企業を発掘していく方針です。

<あおぞら・マネー・マザーファンド>

今後も当初の運用方針に従い、引き続き、本邦通貨表示の短期公社債等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

## お知らせ

本ファンドは2019年4月11日を変更適用日として以下の信託約款の変更を実施いたしました。

### ◎変更内容

・組入れファンドの変更

変更後:

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

・ファンド休業日の追加

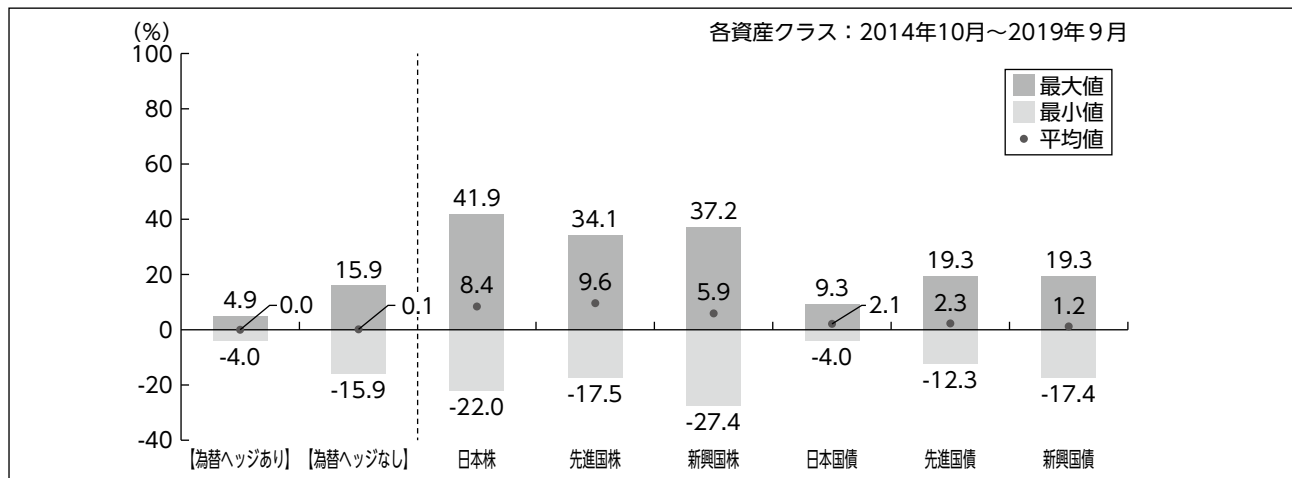
ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日または香港の銀行休業日 (下線部が変更箇所)

※本信託約款の変更については、2019年4月9日に書面による決議を行い、可決されました。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信/海外/債券
信託期間	原則として無期限
運用方針	主として米国市場の短期ハイ・イールド債券に投資を行うことで、インカム・ゲインの獲得と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・ケイマン籍外国投資信託受益証券 (円建て) アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし) ・親投資信託 あおぞら・マネー・マザーファンド
運用方法	①主として、別に定める投資信託証券への投資を通じて、主に米国企業の発行する米ドル建ての短期ハイ・イールド債券 (以下「ハイ・イールド債券」といいます。) に投資を行います。 ②投資にあたっては、実質的な償還までの期間が概ね5年以下のハイ・イールド債券を中心に投資し、価格変動リスクと信用リスクの低減に重点を置いてポートフォリオを構築します。なお、バンク・ローンに投資する場合があります。 ③ハイ・イールド債券に投資する投資信託証券の組入比率は原則として高位を保ちます。 ④「あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド (為替ヘッジあり)」は外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行います。 ⑤「あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド (為替ヘッジなし)」は外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とし、収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額等の場合は分配を行わない場合があります。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年10月～2019年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、本ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、本ファンドの設定日が2014年10月31日のため、本ファンドについては2015年10月～2019年9月の各月末の直近1年間の騰落率を表示しています。

※上記は、本ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。  
※上記の騰落率は直近月末から60カ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。  
※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。  
※本ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### <代表的な各資産クラスの指数>

日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株・・・MSCI-KOKUSA I ンデックス(配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

※東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、東京証券取引所第一部上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

※MSCI-KOKUSA I ンデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

※MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

※NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が発表している国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す指数です。なお、NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

※FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

※JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 当該投資信託のデータ

### 当該投資信託の組入資産の内容（2019年10月21日現在）

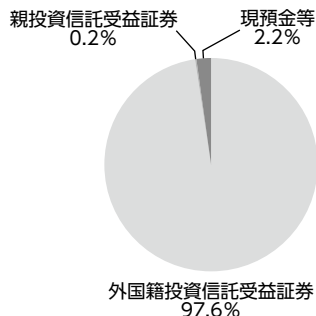
あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド（為替ヘッジあり）

#### ○組入ファンド（2銘柄）

	組入比率
アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド（為替ヘッジあり）	97.6%
あおぞら・マネー・マザーファンド	0.2%
その他	2.2%

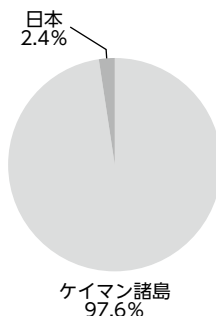
※組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

#### ○資産別配分

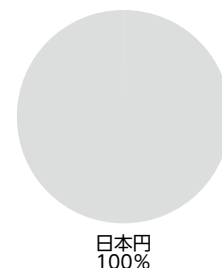


※比率は純資産総額に対する割合です。

#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



#### ○純資産等

項目	当期末
	2019年10月21日
純資産総額	51,998,510円
受益権総口数	54,347,359口
1万口当たり基準価額	9,568円

※当期中における追加設定元本額は1,284,498円、同解約元本額は7,240,884円です。

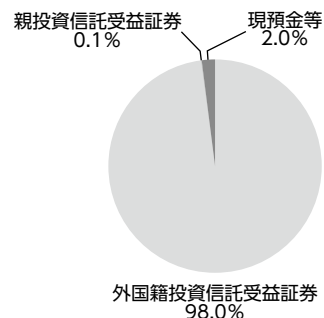
## あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド（為替ヘッジなし）

### ○組入ファンド（2銘柄）

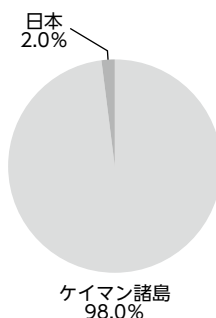
	組入比率
アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド（為替ヘッジなし）	98.0%
あおぞら・マネー・マザーファンド	0.1%
その他	2.0%

※組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。また、各組入比率の合計は端数処理の関係上、100%にならない場合があります。

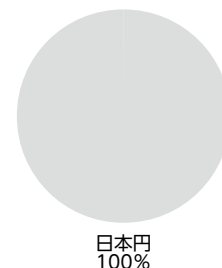
### ○資産別配分



### ○国別配分



### ○通貨別配分



※比率は純資産総額に対する割合です。また、各配分比率の合計は端数処理の関係上、100%にならない場合があります。

### ○純資産等

項目	当期末
	2019年10月21日
純資産総額	102,810,776円
受益権総口数	102,161,303口
1万口当たり基準価額	10,064円

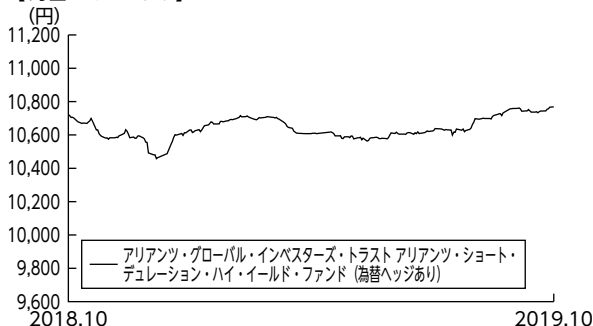
※当期中における追加設定元本額は13,766,314円、同解約元本額は8,298,759円です。

## 組入上位ファンド (銘柄) の概要

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

### 基準価額の推移 (2018年10月23日～2019年10月21日)

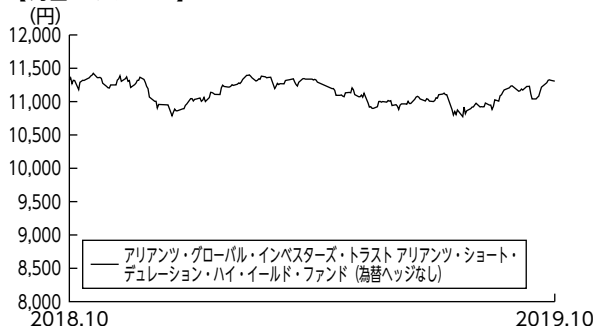
【為替ヘッジあり】



(注1) 当該ファンドの当初組入れ時 (2014年10月31日) を10,000として指数化しております。

(注2) 組入れファンドの変更に伴い、変更前後の組入れファンドの価格推移を連続させて算出しています。

【為替ヘッジなし】



(注1) 当該ファンドの当初組入れ時 (2014年10月31日) を10,000として指数化しております。

(注2) 組入れファンドの変更に伴い、変更前後の組入れファンドの価格推移を連続させて算出しています。

## ○上位10銘柄

銘柄名	国	種別	利率	償還日	比率
1 PETS MART INC	米国	バンク・ローン	-	2022/3/11	3.87%
2 パーティ・シティ・ホールディングス	米国	社債	6.13%	2023/8/15	3.19%
3 DISH DBS	米国	社債	5.13%	2020/5/1	3.16%
4 ASURION LLC TL B6	米国	バンク・ローン	-	2023/11/3	3.09%
5 A P Xグループ	米国	社債	7.88%	2022/12/1	2.62%
6 エクイニクス	米国	社債	5.38%	2023/4/1	2.60%
7 ASURION LLC TL B2	米国	バンク・ローン	-	2025/8/4	2.59%
8 リアロジー・グループ/リアロジー・コイシュアー	米国	社債	5.25%	2021/12/1	2.59%
9 プライムセキュリティ S v c ボロワー/プライム F i n	米国	社債	9.25%	2023/5/15	2.50%
10 T-Mobile USA Inc	米国	社債	6.50%	2024/1/15	2.41%
組入銘柄数				93銘柄	

(注1) 上位10銘柄のデータは2019年9月30日現在のものです。本データは、アリアンツ・グローバル・インベスターズの情報を基に委託会社で作成したものです。監査は受けておりません。

(注2) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

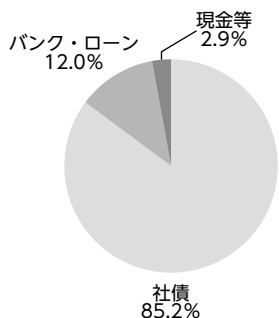
(注4) バンク・ローンの利率は変動する場合がありますため、「-」と表示しています。

※個別銘柄を推奨するものではありません。

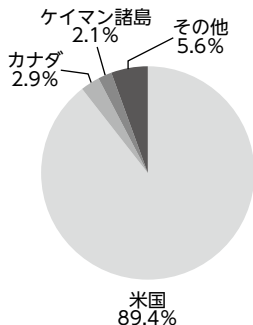
## ○1万口当たりの費用明細

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンドは2019年3月31日時点で組入れていないため、記載できません。

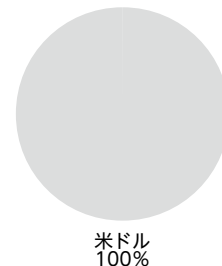
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2019年9月30日現在のものです。本データは、アリアンツ・グローバル・インベスターズの情報を基に委託会社が作成したものです。監査は受けておりません。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目については2ページおよび3ページの注記をご参照ください。

(注3) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## ■指定投資信託証券の運用状況

(注1) 指定投資信託証券の運用状況データは2019年9月30日現在のもので、本データはアリアンツ・グローバル・インベスターズのデータを基に委託会社が作成しています。

(注2) 各項目の比率は、指定投資信託証券の資産総額に対する割合です。各項目の比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

### ○資産構成

資産	比率
債券	85.2%
バンク・ローン	12.0%
現預金等	2.9%
合計	100.0%

### ○格付構成比

格付	比率
B B B格以上	12.9%
B B格	38.9%
B格	40.8%
C C C格以下	0.8%
無格付	3.8%
現預金等	2.9%
合計	100.0%

(注) 格付構成比は投資顧問会社が定義した分類によるものです。

### ○国別構成比

国	比率
米国	86.6%
カナダ	2.9%
ケイマン諸島	2.1%
その他	5.6%
現預金等	2.9%
合計	100.0%

(注) 国は組入銘柄の発行体の所在国を示しています。(投資顧問会社による定義)

### ○組入上位10銘柄

銘柄名	種別	国	利率	償還日	利回り	比率
1 PETSART INC	バンク・ローン	米国	—	2022/3/11	7.1%	3.9%
2 パーティ・シティ・ホールディングス	社債	米国	6.13%	2023/8/15	5.6%	3.2%
3 DISH DBS	社債	米国	5.13%	2020/5/1	2.7%	3.2%
4 ASURION LLC TL B6	バンク・ローン	米国	—	2023/11/3	4.9%	3.1%
5 A P Xグループ	社債	米国	7.88%	2022/12/1	7.8%	2.6%
6 エクイニクス	社債	米国	5.38%	2023/4/1	4.6%	2.6%
7 ASURION LLC TL B2	バンク・ローン	米国	—	2025/8/4	8.3%	2.6%
8 リアロジー・グループ/リアロジー・コイシュアー	社債	米国	5.25%	2021/12/1	5.2%	2.6%
9 プライムセキュリティ Svc ボロワー/プライム F i n	社債	米国	9.25%	2023/5/15	7.5%	2.5%
10 T-Mobile USA Inc	社債	米国	6.50%	2024/1/15	5.4%	2.4%

(注1) バンク・ローンの利率は変動する場合があります。「—」と表示しています。

(注2) 利回りは、最終利回りを記載しています。

(注3) 比率は純資産総額に対する割合です。

※個別銘柄を推奨するものではありません。

### ○ポートフォリオ概況

最終利回り	5.7%
最低利回り	4.6%
平均残存年数	3.1年
修正デュレーション	0.8年
平均格付	B B -

(注1) 最低利回りとは、早期償還条項等、債券に内包されたオプション等を考慮して計算した利回りのうち、最も低いものです。

(注2) 上記の各種利回りは、実際の投資家利回りとは異なります。

(注3) デュレーションとは、金利の変化に対する債券の価格感応度を示す指標で、単位は「年」で表示されます。この値が長い(短い)ほど、金利の変化に対する債券価格の変動率が大きく(小さく)なります。

(注4) 平均格付とは、基準日時点での保有債券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該ファンドに係る信用格付ではありません。

(注5) 上記数値は、現預金を含めて算出したものです。

### ○組入上位5業種

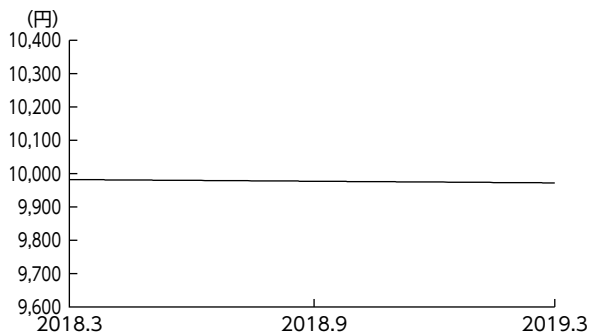
業種名	比率
専門小売	11.3%
サポート・サービス	8.4%
有線通信総合サービス	7.0%
無線通信	6.1%
損害保険	5.7%

(組入銘柄数：93銘柄)

## 組入上位ファンド (銘柄) の概要

### あおぞら・マネー・マザーファンド

#### 基準価額の推移 (2018年3月16日～2019年3月15日)



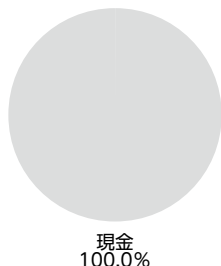
#### ○上位10銘柄

2019年3月15日現在、該当事項はありません。

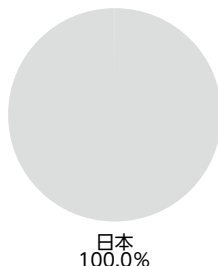
#### ○1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 (その他)	0 (0)	0.001 (0.001)
合計	0	0.001

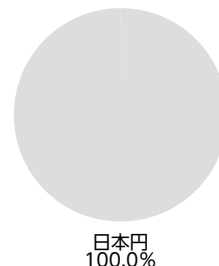
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2019年3月15日現在のものです。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む)」を期中の平均基準価額 (9,977円) で除して100を乗じたものです。

(注4) 1万口当たりの費用の明細は組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目については2ページおよび3ページの注記をご参照ください。

(注5) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。